



遊学の森たより

猛暑の8月から9月に入りましたが、日中の暑さはほんの少し和らいだ程度で、動くと汗が出るのは変わらないままです。とはいえ、夜になると、秋の虫が「チン、チン」「ガチャガチャ」など、にぎやかに鳴くようになりました。確実に季節が進み、秋がゆっくりとやってきています。

8月の遊学の森のようす



森の小径。木を見上げながら、右に行こうか左に行こうか。ひんやりとした風がどこからともなく吹いてきます。夏の森は暑さをしのぐのに最適です。



毎年、ハンノキの葉は、夏に虫に食べられて、葉っぱが枯れ落ちます。(写真上)
その後、あっという間に葉っぱを回復させて、青々とした葉を、落葉まで茂らせます。(写真下)
他の樹木では、なかなかこうはいきません。



木のおもちゃ美術館で行われたイベントのお手伝いに行きました。そこで遊学の森で採取した、葉っぱサンプルを展示してもらいました。



イベントに持っていった葉っぱサンプルの、ハネミイヌエンジュ。材の色に特徴があります



ノリウツギが満開でした。白い花に日光が当たり、よく目立っていました。他の生き物たちも見ているのかな。



ハネミイヌエンジュはマメ科なので、花もフジやシロツメクサ(いずれもマメ科)に似ています。

■森づくり活動など報告

●活動期間 8月1日～31日

活動内容	日付	被害数	ネット補修状況
獣害防除 ネット修復	14日	1か所	森づくり区画の外周に張られた、獣害被害防止ネットの補修状況です。今月は被害が1か所でした。駐車場にはシカのフンがたくさん見られるのに、森づくり区画周辺では確認できずです。とはいえ、油断できませんので、来月も見回りをしていきます。 ○フンは見なくても、シカを確認(右写真)。遊学の森入り口手前の作業道です。 

●森づくり活動

今月は、ボランティア活動はありません。先月同様、猛暑日が続きました。熱中症も心配ですので、活動は9月以降が良いように思います。皆様のお越しをおまちしております。

■トピックス

●8月は多くの実がなっていました

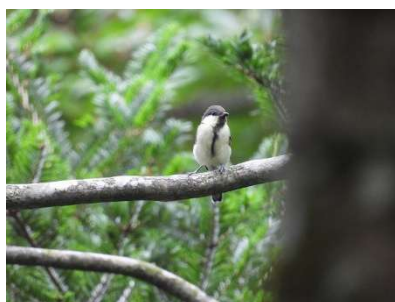


今年はエゴノキがたくさん咲いたので、実もたくさんなっています。白い実が目立ちます。

左写真はミズキです。右写真はクマノミズキ。花の咲く時期がずれるので、必然的に実の熟す時期も違います。ミズキは実が黒くなっていますが、クマノミズキはこれから熟し始めるのでしょうか。青い実ですね。



ヒメシャラも実ができていました。エゴノキと同じく、たくさん花を咲かせたようです。実が熟すと4つに割れて、中から種が出てきます。



シジュウカラです。首をかしげてこちらを見るようすが、愛らしいです。



ツマグロヒヨウモン。「チョウの入れ替わりがすごい早い」と、撮影者が言っていました。虫たちは、またたく間に世代が変わるんだなあと思いました。

徳島県立高丸山 千年の森ふれあい館(指定管理者:一般社団法人かみかつ里山倶楽部)
〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL 0885-44-6680

E-mail sennennomori@kkcatv.jp

※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。

公式 LINE 登録すると、毎月、千年の森の情報が届きます。ぜひ登録ください。→

